

# 国内外の社会問題を学ぶだけで終わらない 出張授業・講演会のご案内



授業後  
アンケート  
自分には世界に  
ポジティブな変化を  
起こせると感じる  
86.9%



## 社会問題を自分事で考え アクションを起こすチカラを



「子どもや若者は助けられるだけの存在ではなく、  
自身が変化を起こす担い手である」

私達は活動を通して、子どもが声を上げることで  
おとなや社会、世界をも動かしてきた事を  
たくさん見てきました。

学ぶだけで終わらず、  
動きだすためのプログラムで、  
児童・生徒の自己変容をサポート。

先生方の伴走者として、  
講師派遣、教材・活動機会提供など、  
無料・有料の総合的なプログラムを  
ご用意しています。



ESD



教科書掲載団体  
教科書の内容と連携した  
授業作りも可能です。



認定NPO法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、上記の教育を推進しています。

(写真)

ケニアの子どもたちとマララ・ユスフザイ、当団体設立者のクレイグ・キールバーガー／支援先のケニアのコミュニティにて撮影  
2014年ノーベル平和賞受賞マララ・ユスフザイも活動に参加している団体です。

# ESD・アクティブラーニングを基本に 社会問題を学ぶだけでなく、コミュニケーション・問題解決スキルなどの "アクションを起こすチカラ"を身に付けるプログラム

## 社会問題

### 国際理解



世界全体の格差問題から、児童労働・環境破壊・差別などの社会問題まで、なぜ起きているのか、自分との関わりわりはどの様なものかを考えます。

NEW!

### 障害者理解



障害者や外国人、性的マイノリティ、少数派と言われる人々でも、誰もが暮らしやすい社会“共生社会”の実現のために、自分たちが何をしなければならぬのかを考えます。

ワークショップの種類は100種類以上。時間教授のねらいなどをお伺いして、カスタマイズします。

## アクション

### アクションプランニング



好きなことと社会問題を結び付け、アクションを起こす考え方を伝えます。具体的な活動事例を紹介し、実際に児童・生徒自身が、自分のアクションを組み立てます。

### スピーチ・チームワーク



自身のリーダーシップスタイルに気づき、コミュニケーション能力を高めます。チームで仲間と協力する楽しさを実感できるワークショップやすぐに使えるスピーチトレーニングも。

## 当日プログラム例

◆ワークショップタイプ  
(クラス別・学年別/2コマ授業)  
\*WS:ワークショップ

10:15-導入 (事例1)  
10:30-講義  
障害者と教育、フィリピンの現状  
11:05-休憩  
11:15-WS\*  
共生社会/ズレ私たちにできること  
11:50-おわりに  
12:00-終了

10:15-導入 (事例2)  
10:25-WS ワールドマップ  
11:05-休憩  
11:15-スピーチ  
11:25-WS:  
Gift + Issues = Change  
11:55-おわりに  
12:00-終了

◆講演タイプ(全校生徒/60分)

10:15-導入 (事例3)  
10:20-世界の子どもたちと貧困の現状  
10:40-私に何ができる?  
11:00-子どものアクション事例  
11:10-おわりに  
11:15-終了

出張授業

アフターサポート

### 教材提供

※ご相談下さい



- ・出張授業前後の学習カリキュラム
- ・資料映像 など

児童・生徒のなにかしたい！先生のもっと学びの場を作りたい！を応援しています。

### 活動キャンペーン

追加活動キャンペーン随時作成中!



書き損じハガキ回収



1円玉募金



文化祭



文通プログラム (フィリピン・インド)

## ◆講師プロフィール(一部)◆

伊藤菜々美 (担当テーマ: 国際理解・人権教育・リーダーシップ)



1990年生まれ。高校時代、学校の英語の教科書をきっかけにフリー・ザ・チルドレンと出会い、インドの支援事業に関わる。大学では国際政治学を専攻、途上国を中心に約30か国を訪問。大学卒業後、一般企業勤務を経て入団。カナダの本場で、ファシリテータースキル取得。子ども向けの楽しく世界を知るワークショップを担当。

石田由香理 (担当テーマ: 障害者理解・人権教育・共生社会)



1989年生まれ。1歳3か月の時から全盲で、高校まで盲学校に通う。大学生時代にフィリピンへのスタディーツアーをきっかけにフリー・ザ・チルドレンと出会う。イギリスの大学院にて教育開発の修士号取得後、フィリピン駐在のNGO職員として勤務。現在はフィリピン障害者支援事業プロジェクトマネージャーに従事。

## ●実施校からの声●



当校では、平成23年度より毎年、1年生が、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの出張プログラムを受けています。大変よく練られたプログラムで、参加する生徒は、同じ年齢の子どもたちが、児童労働や貧困、戦争の犠牲になっていることを共感を持って理解します。さらにプログラムから「子どもでも世界を変えることができる」という、強いメッセージを受け取った生徒たちは、解決の為の方策を自ら考え自ら行動しようとしてます。昨年は、本校にも支部をつくらうとする運動も始まりました。ぜひ、教育関係の皆様には、出張授業を活用して子どもたちに自ら考える力・行動力を育てる良い機会にして頂きたいと思っております。

世田谷区立桜丘中学校 校長 西郷孝彦先生

## コーディネートの流れ

### STEP 1

#### お申込み

ホームページ、またはFAXにて、ご希望の日程をご連絡下さい。

### STEP 2

#### ヒアリング

ご希望のテーマ、前後の授業など、ご依頼頂く単元のねらいをお伺いします。

### STEP 3

#### 授業内容ご提案

ヒアリングを元に、授業内容(当日のタイムスケジュール)案をご提案致します。

### STEP 4

#### 当日

### STEP 5

#### 授業後のフォロー

生徒さんから頂いた質問への回答、アクションへのフォロー、教材提供等行います。

## 訪問実績(一部)

(小学校)練馬区立大泉第二小学校、東大和市立第三小学校、大阪府立豊野町立光風台小学校、和光小学校、調布市立若葉小学校、能勢町立天王小学校、福岡県糸島市立南風小学校、浦安市東野小学校、板橋区立徳丸小学校、大阪市立関目東小学校、高知県仁淀川町立別府小学校、川崎市立大戸小学校 (中学校)世田谷区立桜丘中学校、世田谷区立芦花中学校、世田谷区立梅丘中学校、中野区立第五中学校、板橋区立志村第五中学校、練馬区立光が丘第四中学校、多摩市立青陵中学校、町田市立真光寺中学校、横浜市立藤の木中学校、鎌倉市立藤越中学校、能勢町立東中学校、名古屋市立宝神中学校、東洋英和女学院、和光中学校、Canadian International School、くもん国際アカデミー、同志社中学校、松原市立松原第三中学校、愛知教育大学附属岡崎中学校、東京学芸大学附属世田谷中学校 (中高一貫校)川村中学校・高等学校、尚綱学院中等高等学校、東京学芸大学附属国際中等教育学校、洗足学園中学校・高等学校、横浜雙葉中学高等学校、田園調布雙葉高等学校、聖学院中学校・高等学校、茗溪学園中学校・高等学校、加藤学園院秀中等高等学校、桃山学院中学校高等学校、熊本マリスト学園中学校・高等学校、千葉国際中等学校・高等学校 (高校)八戸聖ウルスラ学院高等学校、東京都立農芸高等学校、東京都立田園調布高等学校、東京都立国際高等学校、東京都立六本木高等学校、東京都立世田谷総合高等学校、慶應義塾高等学校、神奈川県立大和高等学校、浜松海の星高等学校、大阪府立能勢高等学校、立命館宇治高等学校、大阪府立西成高等学校、大阪府立住吉高等学校 (大学)尚綱学院大学、ルーテル学院大学、テンブル大学、恵泉女学園大学、津田塾大学、文京学院大学、駿河台大学、青山学院大学、立命館アジア太平洋大学、法政大学、上智大学大学院、立教大学、上智大学、関東学院大学、桃山学院大学、明治学院大学 (専門学校)日本医歯薬専門学校 ほか

# ▲出張授業専用 お申込書

※必要事項をご記入の上、ご返送ください。  
WEB サイトからもお申込みを受け付けております。

担当者より折り返しご連絡いたします。

万一1週間経っても連絡がない場合は、お手数ですが電話もしくはメールにてご連絡いただければ幸いです。

ご希望の日時	第1希望	年	月	日 ( )	時	分	～	時	分
	第2希望	年	月	日 ( )	時	分	～	時	分
対象学年・クラス種類									
人数									
ご希望の内容・テーマ									
学校名									
住所		〒							
ご担当	部署・役職								
	ご氏名								
電話									
FAX									
メール									
お電話可能時間帯		※お時間を作りやすい曜日などありましたら、お知らせください。							
ご予算		※講師派遣料(寄附)は、1回の授業で2万円～(交通費別)が目安になります。 ※上記のお支払いが予算上どうしても難しい場合ご相談下さい。知ることが一番大切なことと考えています。							
備考									

※個人情報をご本人の意思に反して収集、利用することはありません。個人情報の収集は、収集目的を明確に定め、利用者からの問い合わせ窓口を明示した上で、当団体が行う活動の範囲内でその目的の達成に必要な限度に応じて行ないます。また、収集した個人情報は、当団体が行う活動に必要な範囲において利用します。

**FAX: 03-6323-6504      メール: info@ftcj.com**

※必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにて送信してください。

お問い合わせ

Supported by  日本 THE NIPPON CHILDREN FOUNDATION



認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山6-6-5 3F TEL 03-6321-8948 MAIL info@ftcj.com HP <http://www.ftcj.com/>

フリー・ザ・チルドレンとは

1995年に当時12歳のカナダ人少年クレイグ・キールバーガーによって貧困や搾取から子どもを解放することを目的に設立された国際協力団体。「子どもや若者は助けられるだけの存在ではなく、自身の変化を起こす担い手である」という理念のもと、子どもや若者が自分の持つ力を発揮して、より良い世界をめざし行動を起こせるよう環境づくりに取り組んでいます。フィリピン、インド、ケニア、など9か国の開発途上国を対象に自立支援を行い、今までに1,000校以上の学校を建て、毎日20万人以上の子どもが教育を受けられるようになりました。現在、1,000人近い日本の子どもや大学生など若者がメンバーとなって活動しています。



国内外の社会問題を学び・自分事で考え、自分出来る事からアクションを起こすことを広めるムーブメント“WE movement”の学校向け教育プログラム。国際理解教育の「知る・考える・実行する」という要素を児童・生徒一人ひとりのなかに育て、一過性ではなく、継続的に子ども自身がソーシャルアクションに取り組めるような環境づくりをすすめるものです。